

## 戸塚つながるバスニュース



今号の話題： 市と神奈中が一緒に取り組む 必要 と メリット って なに？

戸塚つながるバスニュース第2号をご覧ください、ありがとうございます！ 創刊号では、「戸塚区南西部におけるバス路線の維持・充実に向けた取組」の概要をご紹介しました。

復習!!

この取組では...

- (1) 利用者の多い路線に“連節バス”を導入する
- (2) 生み出された経営資源を立場・下飯田方面のバス路線や乗継強化に充てる  
⇒地域のバスネットワークを維持・充実していく

ことを目標にしています！

今号では、「なぜ横浜市と神奈川中央交通が一緒に取組を進めるのか」「どの路線をどのように維持・充実するのか」をご紹介します。

※前号で予告した「連節バスの特徴」「疑問質問へのご回答」は次号お届けします。

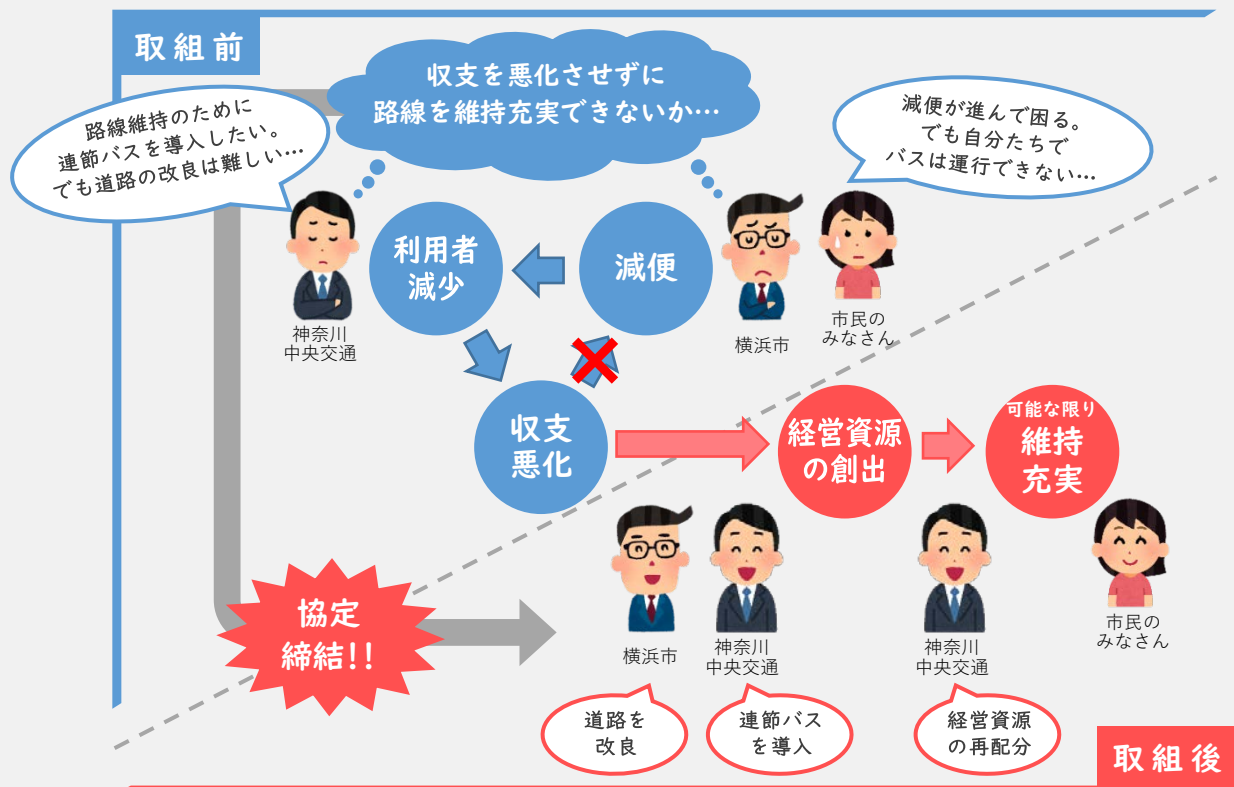
## 横浜市と神奈川中央交通が なぜ一緒に取り組むの？

得意分野 を生かしながら

利用者減少→収支悪化→減便の 悪循環を防ぐため！

前号でご紹介したとおり、バス利用者が減っていく中でバスネットワークを維持していくには、収支を悪化させないことが重要です。収支改善の方法として、利用者（＝収入）の減少に合わせてバスの便数（＝支出）を減らしていくことが考えられますが、過度な減便はバスの利便性が低下し、みなさんの生活に影響を与えるほか、さらなる利用者の減少を招きかねません。

利用者の減少→収支悪化→減便という悪循環を防ぐことが必要で、連節バスの導入によってそれは可能になりますが、連節バスが安全に走行するためには道路の改良が必要でした。



そこで横浜市と神奈川中央交通は令和2年9月に協定を締結し、横浜市は連節バスを導入するための道路改良、神奈川中央交通は連節バスの運行とそれによって生じた経営資源の他路線へ再配分という、それぞれの得意分野を活かすことで、バス路線の維持・充実に向けた取組が可能になりました。

# 取組を実施して どの路線をどう維持・充実するの？

## なぜ 戸塚区南西部 の路線？

取組の実施に適した 2つの条件を満たしているから！

今回の取組は、同じエリアに、下記の2つの路線が必要です。

- ① 連節バスを導入して運行を効率化する路線 = 利用者が多い路線
- ② アで生み出した経営資源の再配分先になる路線 = 利用者が少なく維持が危惧される路線

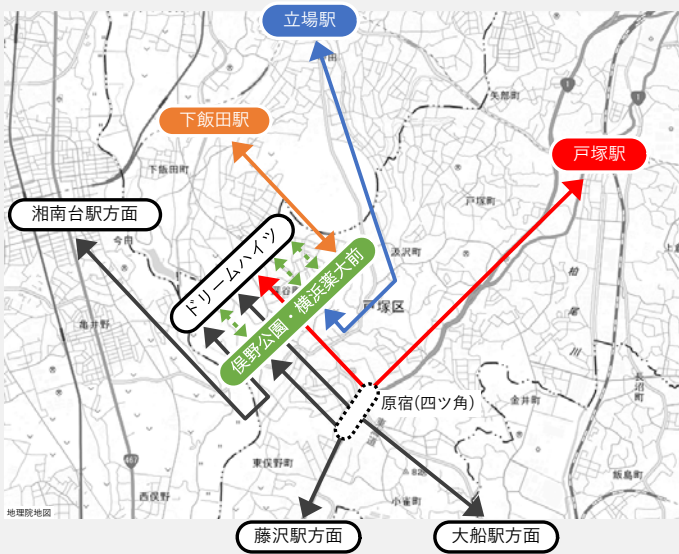
戸塚区南西部では、①はドリームハイツ～戸塚バスセンター、②はドリームハイツ～下飯田・立場などの路線が該当するため、今回の取組を進めることができます。

## で、結局 何をするの？

路線の強化・維持、乗継強化 を実施します！

※実施する取組の内容は現時点での想定であり、関係者との協議や、将来的な利用状況に応じて変更となる場合があります

地域のみなさんとの話し合いや、昨年10月に実施した意見募集の結果から、経営資源の再配分先として、「下飯田方面の路線強化」「立場方面の維持」「俣野公園・横浜薬大前での乗継強化」の3つの取組を実施する予定です。これらの取組を通じて、戸塚区南西部のバスネットワークの維持・充実を図っていきます。



### 取組 1

下飯田方面 収支の悪い路線の強化

利用者が少なく運行時間帯が短かった路線について、運行時間帯を拡大し、通勤通学などに使いやすくします。  
かねてより地域のみなさんから要望があったことに加え、ゆめが丘駅・下飯田駅周辺整備に伴う商業施設の開業や相鉄線の東京方面直通を見据えて、増便を行うものです。

取組前後の運行時間帯・便数（平日）		取組前	取組後
運行時間帯	下飯田方面	始発	8時57分 → <b>6時台</b>
	俣野公園・横浜薬大前方面	最終	19時54分 → <b>20時台<sup>※2</sup></b>
便数	1時間あたり便数	0～2便	<b>0～2便</b>

※ 駅前広場完成後の下飯田駅で折返しした場合の想定です  
※2 今後の協議や利用状況等に応じて変更となる場合があります

### 取組 2

立場方面 路線の維持

利用者の減少により廃止の検討可能性がある路線について当面路線を維持し、バスネットワークの維持を図ります。

取組前後の状況	
取組前	取組後
廃止の検討可能性	<b>当面路線を維持</b>

### 取組 3

俣野公園・横浜薬大前での乗継強化

ドリームハイツから直通便がない立場・藤沢方面との乗継ぎについて割引等を検討し、利便性の向上を図ります。

俣野公園・横浜薬大前での乗継強化	
取組前	取組後
立場・藤沢方面からドリームハイツへの直通なし	<b>乗継割引等の検討</b>

次回は…  
あらためて!!

連節バスはどんな乗り物なのか、いただいたご意見やご心配への回答（対応策案）、今後のスケジュールなどをご紹介します予定です

- このニュースや取組の概要は本市ウェブサイトからもご覧いただけます。 [横浜市 バス 維持充実](#) で [検索](#) または QR コード
- この取組に関するご意見・お問い合わせは 横浜市道路局計画調整部企画課（交通計画班）  
電話：045-671-3800 ファクス：045-651-6527 Eメール：do-koutsuu@city.yokohama.jp まで

